

事例7-10

取組名	寄りあい1 コイン交流会 ～世代間交流の促進～		
町会名	はた 波田12 区町会（波田地区）	町会 データ	・人 口／372 人 ・世帯数／152 世帯 ・高齢化率／34.4% ・町会加入数／111 ・隣組数／13
取組概要	○ 全世代・全住民を対象とした交流会を企画し、町会内の世代間交流を促進 ○ 市地域チャレンジ応援事業補助金を活用		

背景・課題

- ・ 当町会では、様々な公民館活動（バス旅行、焼肉会、スポーツ大会等）を実施しているが、参加者のほとんどが大人という状況
- ・ 同じ町会に住んでいても、知らない人が多く、子どもたちとの交流もあまりない。
- ・ 今後町会を維持するためには、顔の見える関係づくりが重要であり、住民同士が知り合う機会として、子どもから高齢者までが一堂に集い、世代を越えて交流する場を設ける必要があった。

経過・取組内容

- ・ 町会が抱える課題解決策の一つとして、町会、町内公民館の合同役員会において、全世代・全住民を対象とした交流会の開催を決定
- ・ ただ、町会が保有する机・椅子・テントだけでは、来場者がくつろげるスペースを十分に確保できないという問題があった。
- ・ また、年度事業計画・予算を審議する中で、交流会運営に掛かる経費を確保する必要もあり、財源対策として、市の地域チャレンジ応援事業補助金を活用することとした。
- ・ 交流会の企画にあたっては、町会・町内公民館役員で案を出し合い、議論を重ねた。
- ・ その結果、行事名は「寄りあい1 コイン交流会」とし、当日は次のような内容で実施した。

（交流会の内容）

○屋内：大いなる波田体操、輪投げ・魚釣りゲーム、スカットボール

○屋外：模擬店、焼肉、花火大会

- ・ なお、参加費については、子どもたちの参加を促し、世代間交流を深めるねらいから、大人のみとした。

成果・今後の展望等

- ・ 高齢者の集まり「わいわいクラブ」が先頭に立って活躍したことにより、世代間の交流が盛りあがった。
- ・ ゲームを通して住民同士が触れ合い、世代を越えて交流することができた。
- ・ 焼肉会場では、家族や高齢者のグループ、気の合った仲間などで会話を楽しむとともに、高齢者が子どものいる家族に話しかけるなど、グループ同士の交流も生まれ懇親を深めた。
- ・ 今後も、町会内の協力関係の構築を目指し、住民同士が知り合う機会として、交流会を継続して実施したい。



交流会当日の模擬店

【ポイント】

- ▼ 子どもと大人がともに楽しみ、交流を深めることができる企画の立案